

〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台 79-1

横浜市磯子区洋光台地区における



マルチモード・シェアリング

(自動車 & 自転車の共同利用) 社会実験の報告

横浜国立大学（学長：長谷部勇一）都市イノベーション学府 交通と都市研究室は、中村文彦 理事・副学長（同研究室代表）指導の下、自動車および自転車の共同利用の社会実験（以下、「本実験」という）を実施いたしました。

本実験は、郊外住宅地における今後の交通のあり方を提案していく活動の一環として、文部科学省 科学技術振興機構による支援プログラム「センター・オブ・イノベーション（COI）プログラム」によって行われたものです。

本実験の概要

- 期間 : 2015 年 11 月 16 日(月) ~ 12 月 13 日(日) (運用延べ 25 日間)
場所 : 横浜市磯子区洋光台地区 (図 1)
実施主体 : 横浜国立大学 交通と都市研究室 (代表 中村 文彦 理事・副学長)
実験参加者 : UR 賃貸住宅 洋光台北団地の居住者 47 名
配備車両 : 自動車 3 台 (軽乗用車 1 台、普通乗用車 2 台 (ガソリン車 1 台、電気自動車 1 台))、電動アシスト付き自転車 5 台
利用方法 : 常駐係員によるステーションでの貸出しと返却、無料、予約不可
協力機関 : 独立行政法人都市再生機構、日産自動車株式会社 (株式会社日産カーレンタルソリューション)、富士通交通・道路データサービス、ドコモ・システムズ株式会社、MS 横浜株式会社



図 1 共同利用車両のステーション位置図 (Google Map より作成) および実験風景

本実験の結果（速報）

本実験には計 47 名の団地居住者が参加して下さり、30～40 代の女性が多数でした。実験期間中、実際に実験車両を利用したのは計 35 名で、自転車と自動車あわせて延べ 154 回の利用があり、うち計 5 回以上利用した参加者の利用が 6 割強、自転車と自動車を併用した参加者の利用が約 5 割を占めました。車種別では普通乗用ガソリン車（日産ノート）の利用が 50 回で最多でした。

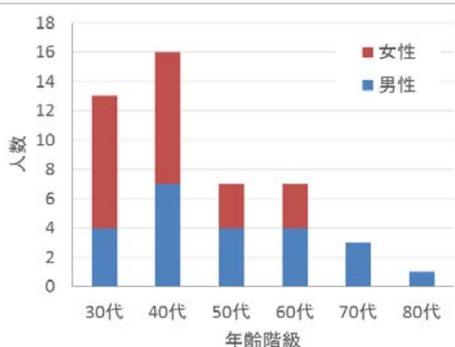


図 2 性別年齢階級別 実験参加者数

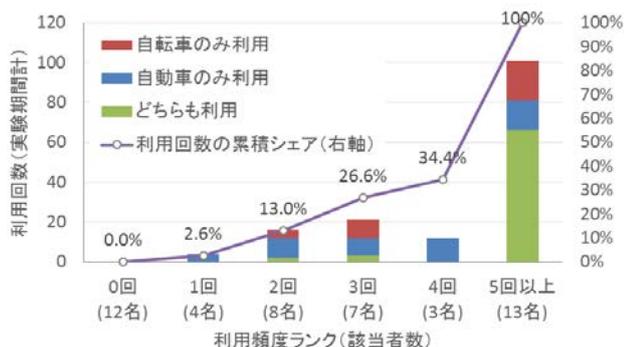


図 3 利用頻度ランク別 実験車両利用回数

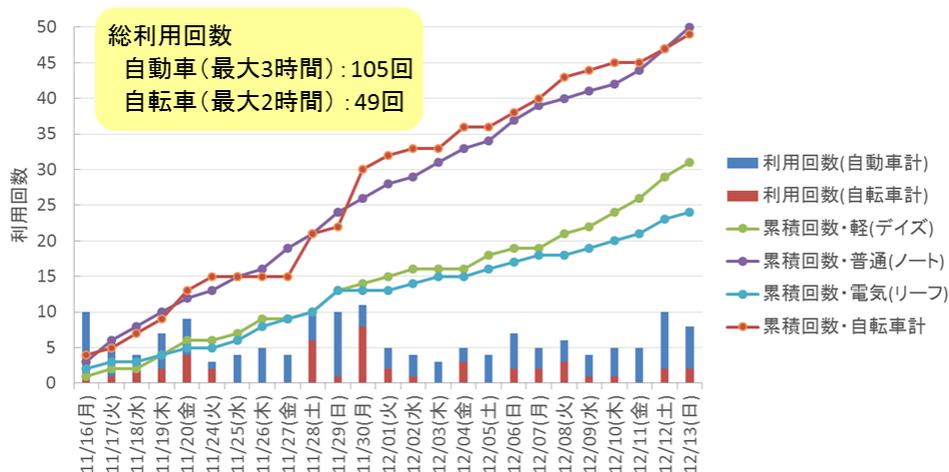


図 4 シェアリング実験車両の利用状況の推移 (25 日間)

今後、実験参加者の交通行動や意識に関する分析を進め、大都市郊外の集合住宅地における複数交通手段（自動車と自転車）の共同利用システムの導入が同地域にもたらすインパクトを多角的に考察していく予定です。

本件に関するお問い合わせ先：横浜国立大学 都市イノベーション学府
交通と都市研究室

(担当) 有吉 亮 (横浜国立大学 産学連携研究員)

下出 依瑞美 (九州大学 COI テクニカルスタッフ)

電話：045-339-4039

Email: shimode.izumi@ynu.ac.jp